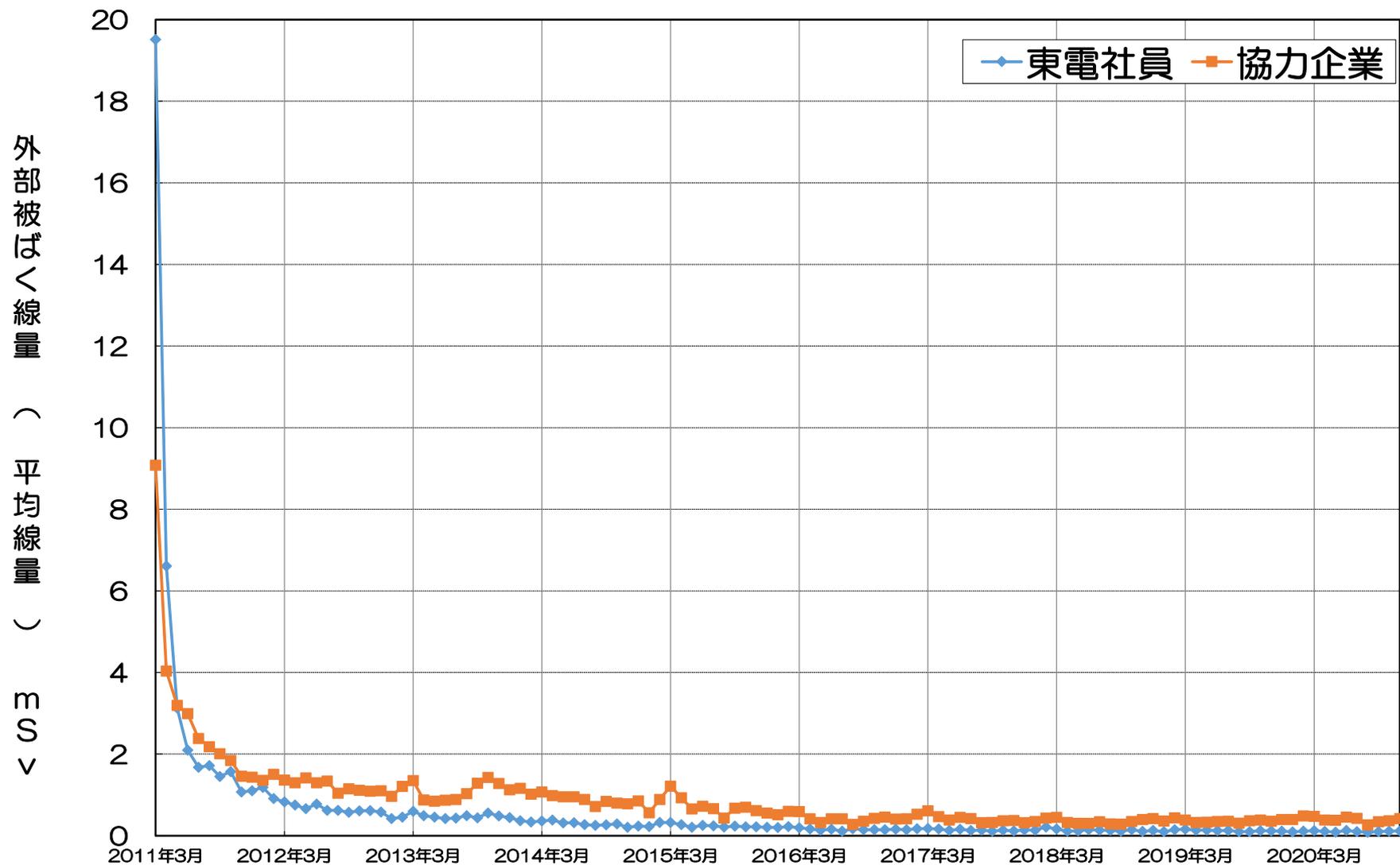


福島第一原子力発電所従事者の 被ばく線量の全体概況について

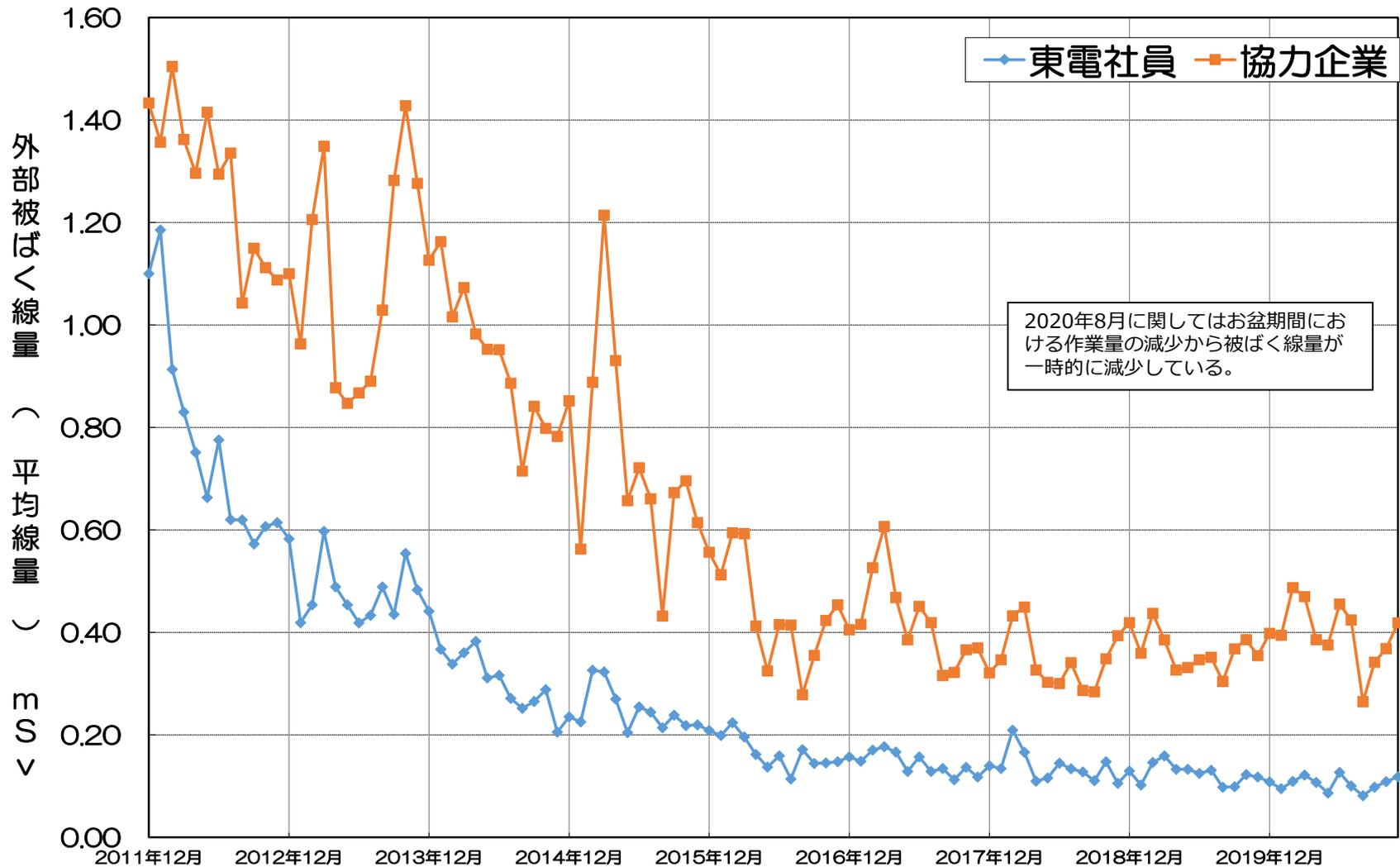
2021年2月16日

東京電力ホールディングス株式会社

① 発災以降の月別外部被ばく線量の低減状況（月平均線量）

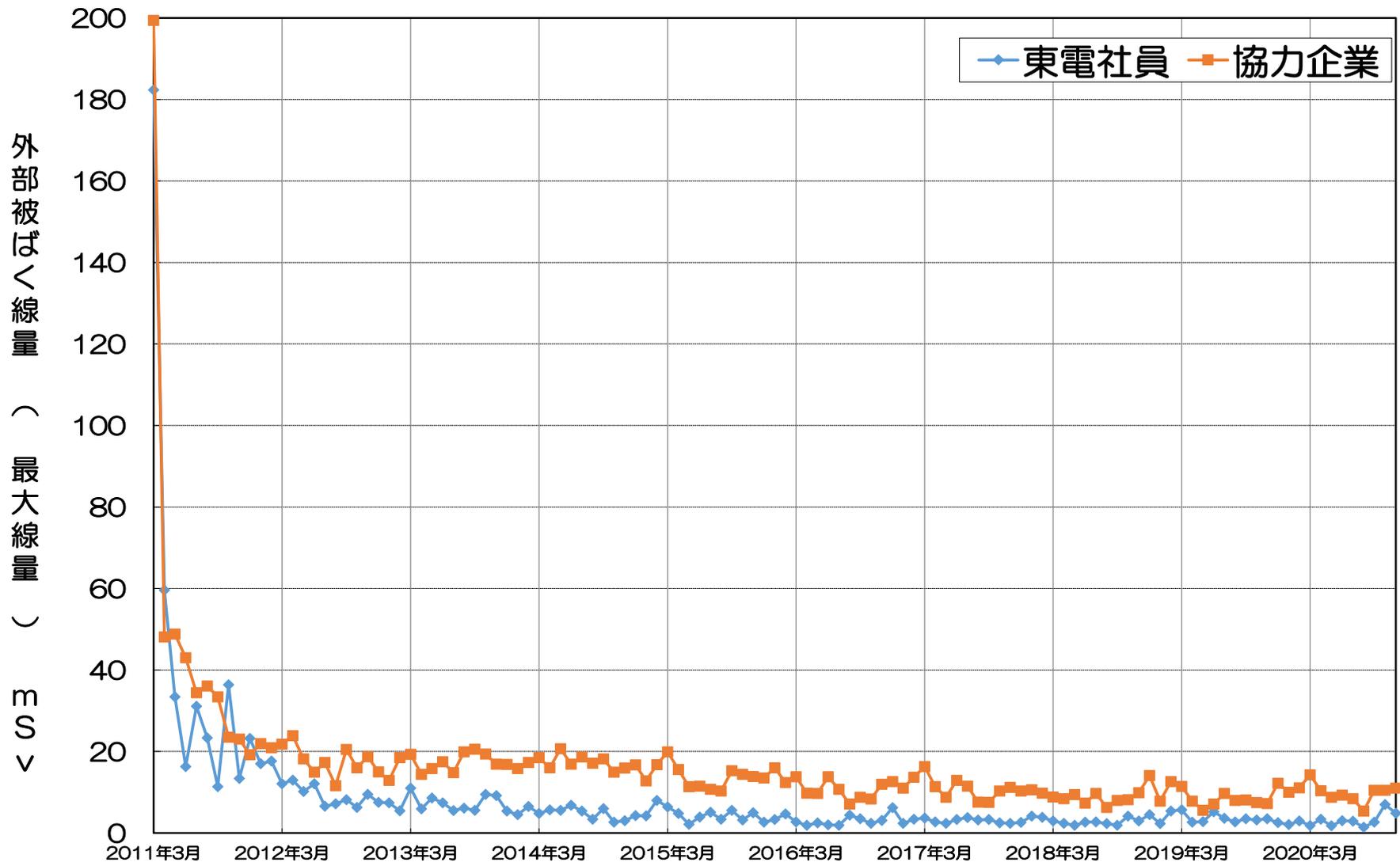


②2011年12月以降の外部被ばく線量推移（月平均線量）

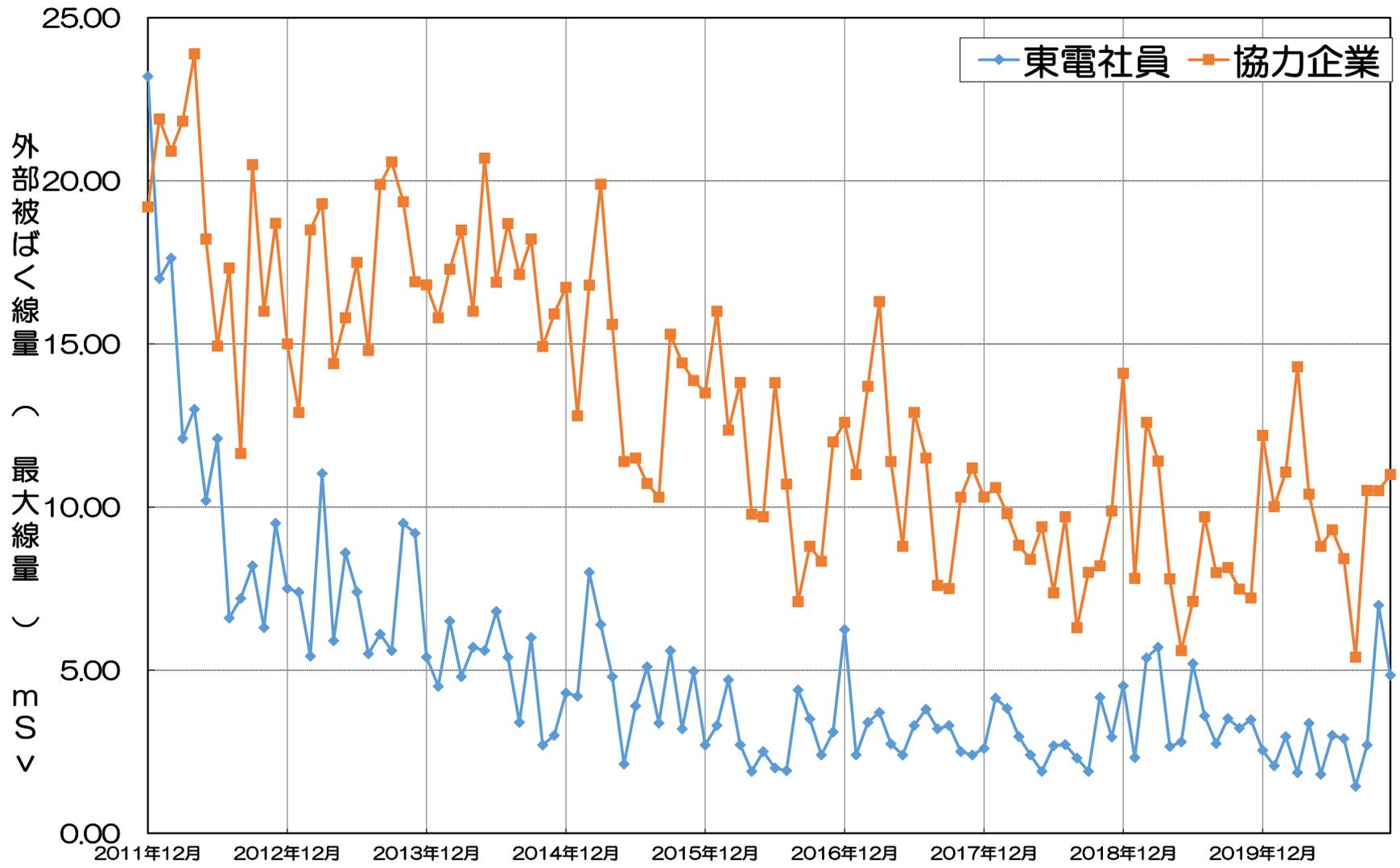


※ 2011年12月（ステップⅡ）以降

③発災以降の月別外部被ばく線量の低減状況（月最大線量）



④2011年12月以降の外部被ばく線量推移（月最大線量）



※ 2011年12月（ステップⅡ）以降



⑤放射線業務従事者の累積外部被ばく線量 2020年度分

区分(mSv)	2020.4月～2020.11月		
	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0
75超え～100以下	0	0	0
50超え～75以下	0	0	0
20超え～50以下	0	0	0
10超え～20以下	4	427	431
5超え～10以下	17	811	828
1超え～5以下	211	1711	1922
1以下	1049	4909	5958
計	1281	7858	9139
最大(mSv)	11.65	19.07	19.07
平均(mSv)	0.62	2.14	1.93

○2020年度（4月～11月）に作業実績のある
9,139名のうち

9,139名（100%）は50mSv以下

9,139名（100%）は20mSv以下

7,880名（86.2%）は5mSv以下



○全ての作業者について被ばく線量は線量限度内(50mSv/年)で管理。

○2011.10月以降、有意な内部取り込みは認められていない。

⑥2016年4月1日を始期とする5年間（5年目）の累積外部被ばく線量

区分(mSv)	2016.4月～2020.11月		
	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0
75超え～100以下	0	42	42
50超え～75以下	2	307	309
20超え～50以下	81	1961	2042
10超え～20以下	150	2378	2528
5超え～10以下	195	2484	2679
1超え～5以下	601	4653	5254
1以下	1400	10049	11449
計	2429	21874	24303
最大(mSv)	57.81	87.40	87.40
平均(mSv)	3.10	6.78	6.41

○2016.4～2020.11に作業実績のある24,303名のうち

24,303名（100%）は100mSv以下

23,952名（98.6%）は50mSv以下

21,910名（90.2%）は20mSv以下



○全ての作業者の被ばく線量については、100mSv/5年の線量限度を超えないよう、発電所では80mSv/5年の管理している。

○75mSvを超過している42名の内6名は2021年1月25日時点で従事者登録解除済である。

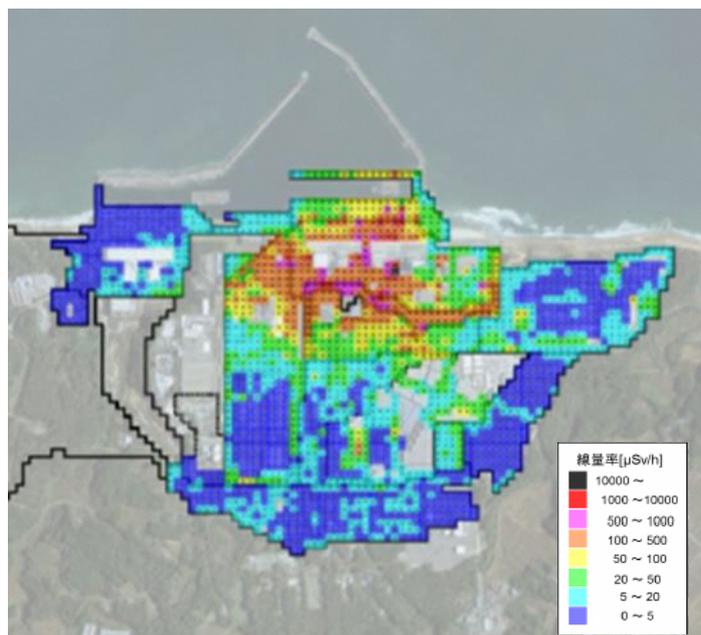
残りの36名に関しては、低線量エリアでの作業や、現場出向しない措置を講じている。また、80mSv/5年を超えるおそれがある場合は、今後の線量管理計画を立案し管理している。

○現時点で75mSvを超過していない作業者についても、線量限度警告リストを毎月確認し、線量限度値を超えないように管理している。

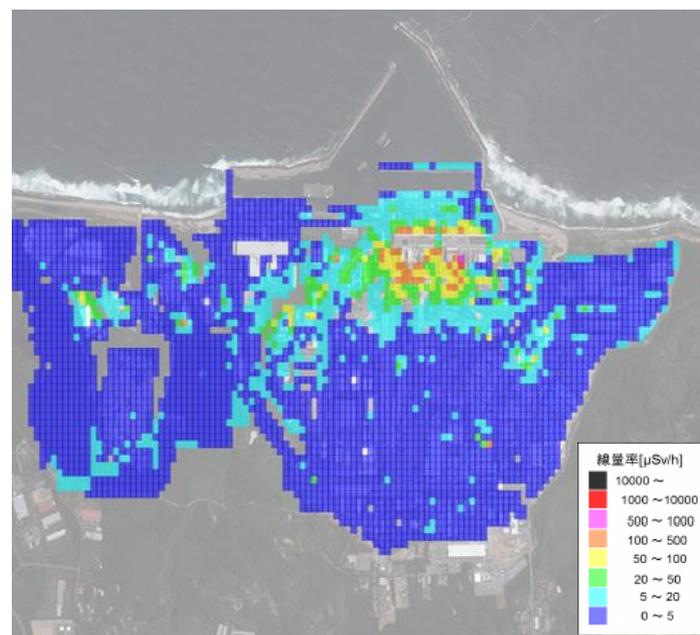
⑦空間線量率の低下

- 構内の環境改善によって、構内全域にわたって空間線量率が低下している。2020年度時点で、構内の約96%が全面マスク不要エリアとなっている。

2014年度



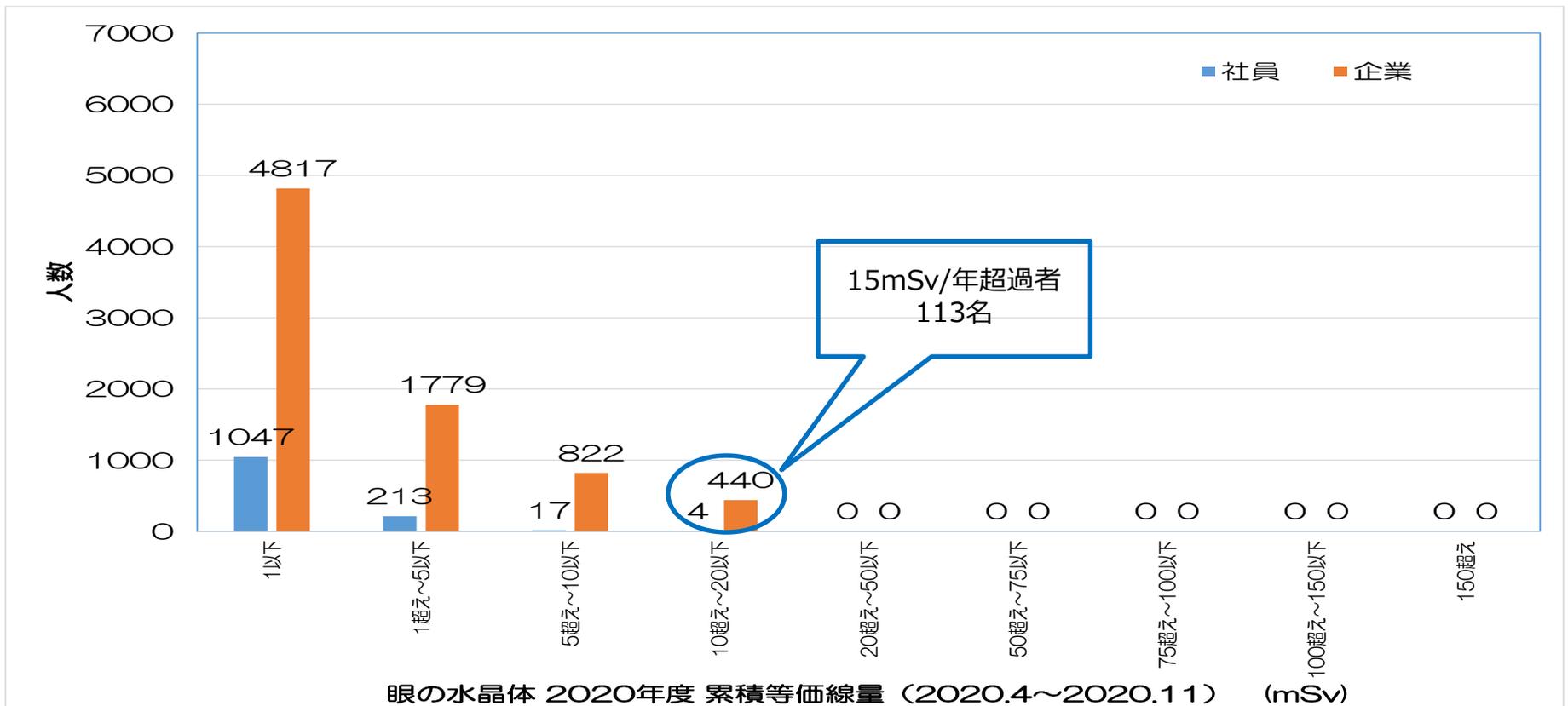
2020年度



※ 空白部分は未測定エリア

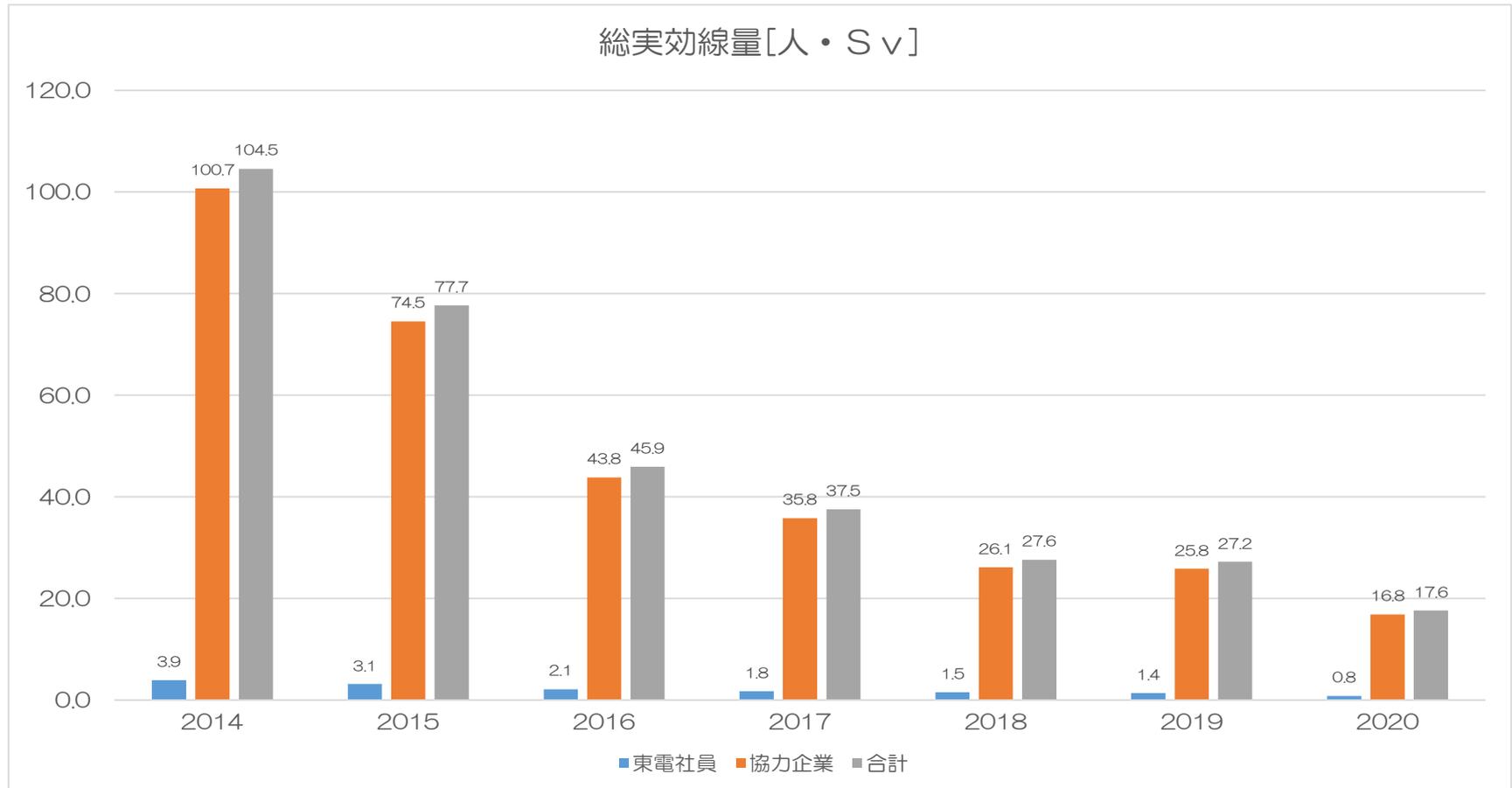
⑧眼の水晶体 等価線量分布（2020年度11月末）

- 2020年度の目の水晶体の最大線量は、20.00mSv。
- 原則、等価線量15mSv／年を超えたことが確認された段階で、その後の線量管理を考慮して水晶体近傍（又は頭頸部）にて測定を開始しており、2020年度の15mSv／年超過者は113名、うち、34名は既に従事者登録解除済み。



⑬年度総実効線量の推移

- 総実効線量は年々低下している。なお、2020年11月時点では前年同時期とほぼ同等で推移している。



※暫定値